



薬物乱用は

「ダメ。ゼッタイ」

愛する自分を大切に



加西市立富田小学校
薬物乱用防止教室

平成 30 年 12 月 18 日(火)

加西ライオンズクラブ

授業のテーマ

「薬物」から自分を守る 1

授業のねらい

正しい薬物の知識を学んだ後に、
友人や知人からの薬物の誘いを断る方法を学習する。

展開 1 正しい薬物の知識を学ぶ



展開 2 断りにくい友人、知人からの誘い

☆ マモル君が薬物を使ってしまった理由を考えよう。

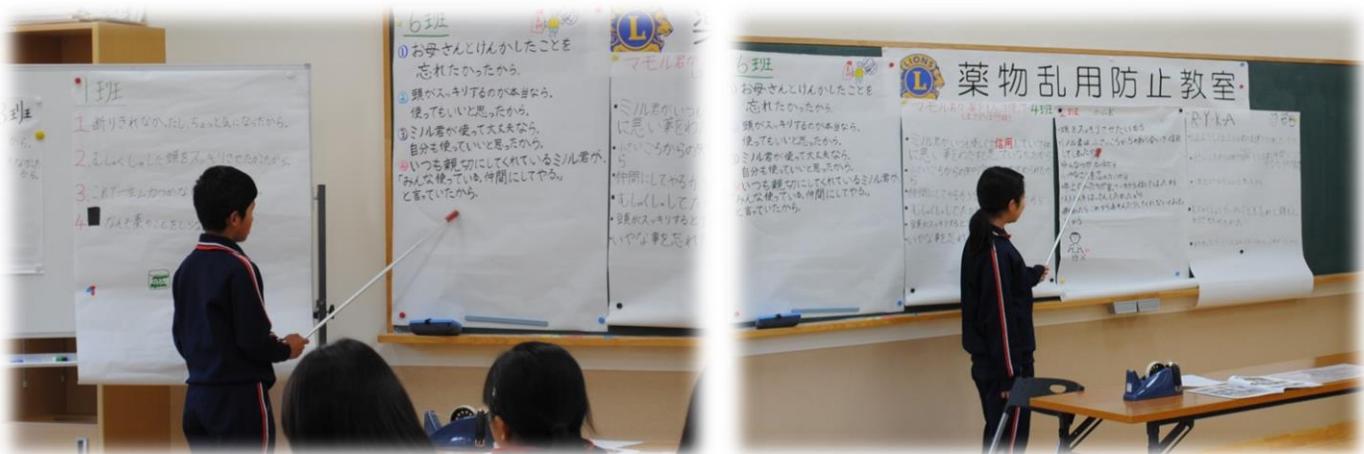


断れなかつた理由をグループでまとめ、模造紙に書き出そう



グループの代表が発表しよう

☆ 友人や知人からの誘いは断りにくいことを確認しよう。



展開 3 それでも、薬物乱用の誘いは断ろう

- ☆ 自分なら、どのように断るか考えよう。
- ☆ 自分に合った断り方を考えることが出来るようしよう。
- ☆ 自分の思いつかなかつた断り方がある事に気付こう。



今日のまとめ

幸せな人生をおくるチェックポイント

- 1、 法律・規則に反してないか。
- 2、 自分や他人に害を与えないか。
- 3、 自分にとって大切な人を
がっかりさせないか。
- 4、 悪いことではないか。後悔しないか。
- 5、 自分がされたら傷ついたり、
困ったりしないか。

加西ライオンズクラブ



薬物乱用は、「ダメ・ゼッタイ」修了証授与



最後に感想文を書くことで、もう一度、今日の授業を振り返ろう



薬物乱用防止について 今日の学習で分かったことや学んだこと、感想を書きましょう。

薬物乱用防止について 今日の学習で分かったことや学んだこと、感想を書きましょう。

私は、今日の「薬物乱用防止教室」で、

薬物乱用は、自分の脳や心を傷つけるとしても、こわいものだということが分かりました。

薬物を使ってしまうことはもちろん、持っていることも「薬物乱用」になってしまって、危険な薬、変な薬、見たことのない薬には、手を出さないことが分かりました。もし、薬物を使うことにさせてやられたら、しっかりと断ることが大事だだということ、薬物を使って人に「薬物乱用」したらアカン」と言える勇気を持つといふことは、社会を守ることだ」ということを覚えておこうと思います。これから大人にならにこれから、薬物乱用にさせられることはあらうと思います。その時は、きっぱり断って、相手にもやめるように言って、自分を自分で守れるという人になろうと思いました。いつになつても、これだけは覚えておきます。

「薬物乱用は、ダメ、ゼ、タイ」ということを頭からはなさないでおきます。



私は、今日学んだことで一番心に残っているのは、薬物は、絶対に使用してはいけないということです。薬も、がせきけたからと言、てたくさん飲んではいけないとか分かりました。薬を、目的がないのに飲むことにより、危険なめにあうことか分かりました。ほかにも、そのような、危険なことをしてしまった人は、これからどのようにしても、絶対もとに戻らないことがあります。たくさん飲むと腎臓がおかしくなり、また飲もうと思、たりやめとこうと思、でも腎臓がおかしくなったせいで、やめられないことが分かりました。また、そのせいで、手足がふるえたり、スマートースに動かせなくなり、考える力も、弱くなることが分かりました。薬物を使用することにより、腎臓がコントロールできなくなり、意味が分からぬい言葉も発言することが分かりました。これから的生活で、やつひんをみたり注意したりして、危険なめにあわぬよう一心がけたいです。



薬物乱用防止について 今日の半面で分かったことや学んだこと、感想を書きましょう。

ぼくは、薬物を口し用の免強をして薬物は、とても可怕いものだと、思いました。薬物をつかうと、いにいなうと、うごうが、かかりました。のうが、これがたらうが大きくなったり、物が小さくみえたり、物の形が、変わつて見えたり、現在しない物が見えろが、うどてもこれが、あどと思ひました。一度これたのうは、もどらうなしんどい、うごうことを分かりました。薬物を口し用に、うごう身体へのえいきょうは、目の視神経がおかれてたり、肺のひんまくがおかされると、うことがあります。危険ドラング」とは、まやくやがくせんじりと同じように、頭とからだに悪い作用があるが、しかし法律のあみをくくられなければ、薬物を売られてしまう薬物のことだと分かりました。ぼくは、薬物はとても可怕い物だと、うがったので、使わないと、う気にします。



薬物乱用防止について 今日の半面で分かったことや学んだこと、感想を書きましょう。

私は、今回の薬物乱用防止教室で、はじめてのこったり、このいいと思、た事が、ありました。一つ目は、一回使用するだけでもかられなくて死にいたることです。薬物乱用は、やかられなくなるだけだと、思っていたけれど、最も悪の場合には死んでしまうのは、ともこわいと思いました。薬物乱用は、脳の中脳からこわして、いたり、動かさをおかしくするから、死んでしまうことが分かりました。二つ目は、やり合いや友達からのさまで、薬物乱用をしてしまうことです。やり合いや友達だと、いつも遊んだりしているから、とねだ。たら、ひいかりううで、うこわいでです。だからこそ、今日学んだことをして、からりおぼえています。あやしい薬、薬中物を用ひないうなものを友達から、いじめに使おうと言われた時に、はし、かり勇気を出してばけれるようにしていました。



今日の薬物乱用防止教室を通して、学んだことは、薬物乱用はダメ、ダメ、ダメを合言葉に、1回だけでも、友達にさせられてもだめかといふこと気をひいたいと思いました。

薬物乱用防止について 今日の学習で分かったことや学んだこと、感想を書きましょう。

薬物乱用防止について 今日の学習で分かったことや学んだこと、感想を書きましょう。

私は、今日の「薬物乱用防止教室」で学んだことは、何個かあります。
まず1個目は、『一度された脳は、もとにもどうない』の所で、もし薬物を飲んでしまうと、①シビして自由に動けなくなること、②考える力が弱くなり記憶もうすれること、③存在しない音が聞こえたりすること、④手足がふるえる手足の動きがスマーズでなくなるなどのことからおこる一生もともどんからくなることが分かりました。

2個目は、薬物をすると人に危害を与えること、『乱用薬物欲しさの犯罪を犯すこれらをしてはならない。3個目は、『薬物乱用は重い罰を受ける』で、エシフートやアリビンで薬物をすると死刑になるくらい重い薬だ』ということが分かりました。

今日は、今日の勉強で、薬物は、禁止されていましたのに、ネットとかで、形をかえてうりされていましたが、薬物を吸うと、のうにしげきをあたえて、幻覚を見たり、抑制作用をあたえて、人をこまらしたりすろとねがた。とくに、1回でも薬物を体の中に入れると、のうが、もう1回すえ、もう1回すえと言ってくるから、1回でもす、なら自分がやめたくても、やめられなくなるから、これが1つあります。

薬物は、人間に、113人が"11をもたらす11"、1つうのかせ薬も、つかいかたをまちがえたら、薬物と同じような、危険な薬物になってしまうので、薬はこれにならなくておもいました。病院でもらった薬とかをつかうときは、つかいたをまちがえすしてのんだ"りして11です。かくせ11をもしのんでたりして11

人が"11たら、つうました11、薬物をすうな、といひ、2ついた11です。

